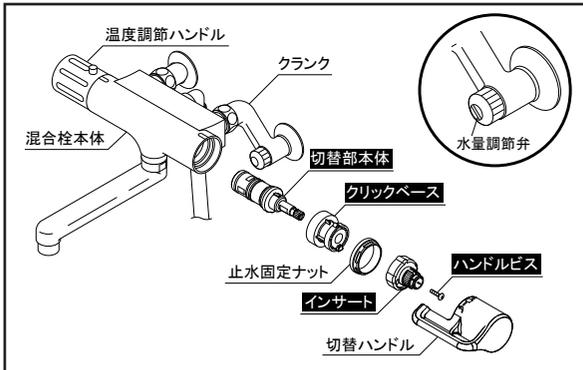


施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

取付方法

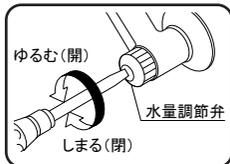
* 取付けの際は、混合栓に付属の取扱説明書および施工説明書を合わせて参照してください。



1. 湯・水側の水量調節弁を閉めて止水します。

湯・水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで右方向にまわして止水します。

- * この時、水量調節弁が何周まわって止まったのかを覚えておいてください。
- * 水量調節弁がないタイプの混合栓の場合は、止水栓または元栓を閉めて止水してください。

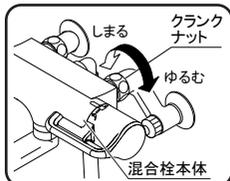


切替ハンドルを吐水状態にしても水栓から水が出ないかを確認してください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。

2. 混合栓本体をクランクから取外します。

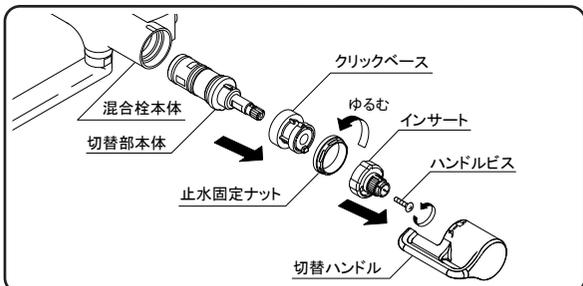
「レンチ」などでクランクナットをゆるめて、混合栓本体とクランクパッキンをクランクから取外します。

- * 取外したクランクパッキンは後で使用しますので、なくさないように注意してください。



- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- 混合栓本体を取外す際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

3. 古い混合栓切替部を取外します。

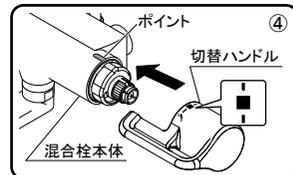
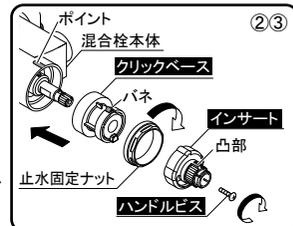
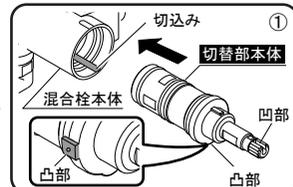


- ① 切替ハンドルを抜取ります。
- ② 「プラスドライバー」でハンドルビスをゆるめて、インサートを取外します。
- ③ 止水固定ナットを「レンチ」などで取外し、クリックベースを抜取ります。
- ④ 古い切替部本体を「プライヤー」などで抜取ります。

取付方法(つづき)

4. 新しい混合栓切替部を取付けます。

- ① 混合栓本体の切込みに新しい切替部本体の凸部を合わせて、奥までしっかり押込みます。
* 切替部本体先端の凹部が上向きになっていることを確認してください。上向きになっていない場合は、インサートを軽く差込んで角度を調節してください。
- ② 新しいクリックベースを、パネが混合栓本体のポイントに合うように差込み、止水固定ナットを「レンチ」などで締付けます。
* 止水固定ナットが入りにくい場合は、クリックベースのパネを押さえてはめ込んでください。
- ③ 新しいインサートの凸部が混合栓本体のポイントに合うように差込み、「プラスドライバー」で新しいハンドルビスを取付けます。
- ④ 混合栓本体のポイントと切替ハンドルの「■」の表示が合うように切替ハンドルをはめ込みます。



- 混合栓切替部を交換する際は、混合栓本体をしっかり支え、軍手・あて布などを使用して作業を行ってください。手などにケガをする恐れがあります。
- 止水固定ナットは十分に締付けてください。施工不良により混合栓切替部が正常に機能しない恐れがあります。
- 切替部本体は絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

5. 混合栓本体をクランクに取付けます。

- ① クランクに2.で取外したクランクパッキンをはめ込み、混合栓本体を取付けます。
- ② 「レンチ」などでクランクナットを均等に締付けて混合栓本体を固定します。



- 混合栓本体は重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。
- 混合栓本体を取付ける際は、クランクが絶対にゆるまないようにしっかりと固定して作業を行ってください。

6. 湯・水側の水量調節弁を開きます。

- ① 切替ハンドルを止水状態にしてから、湯・水側両方の水量調節弁を「マイナスドライバー」などで1.でまわした回数だけ左方向にまわして開き、各部に水もれがないかを確認します。
* 水量調節弁がないタイプの混合栓の場合は、止水栓または元栓を開いてください。
- ② 切替ハンドルをまわし、吐水の切替えおよび止水ができるかを確認します。
* 正常に切替えおよび止水ができない場合は、混合栓切替部を施工し直してください。
* 水もれが発見された場合は、水量調節弁を閉めて水もれする箇所を施工し直してください。



水量調節弁を開く際は、切替ハンドルが止水状態であることを確認してください。止水不良により水がもれ、家財に損害を与える恐れがあります。